

子ども夏休み講座

たねダンゴをつくろう



子ども夏休み講座「たねダンゴをつくろう」を、8月23日(金)環境情報センター活動室で開催しました。

職員が準備したテニスボールくらいの大きさの親ダンゴを、10個程度の小さいダンゴに…手を真っ黒にしながらかつ真剣な表情で丸めていました。

できあがった「たねダンゴ」の一つを鉢に植え、「芽が出るのが楽しみ」「ほんとに花が咲くのかな?」「楽しかったね」と、保護者の方と楽しそうに話しながら持って帰られました。



「たねダンゴ」って何?

「たねダンゴ」は、赤土とケト土を混ぜてよく練って作った土のダンゴに、花や野菜のたねを付けて花壇やプランターに植えて育てる、新しい種まきの手法です。

タネが風で飛んだり、雨で流れたりしにくく、球根を植える感覚で種を蒔けます。1ヶ所からたくさん種が出るので、花束のような姿に育って花が咲きます。

小さな子どもでも楽しく種まきができるように、土のダンゴを使った「たねダンゴ」は、新しいコミュニケーションツールとして生まれたものです。

発行：公益財団法人相模原市まち・みどり公社

みどり推進課 TEL 042-751-6624 (直通) FAX 042-751-2345

<http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp/>

相模原市中央区富士見6丁目6番23号(けやき会館内)

